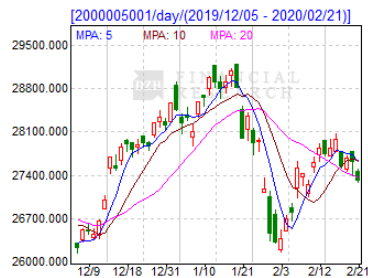


中国株ウィークリーレポート

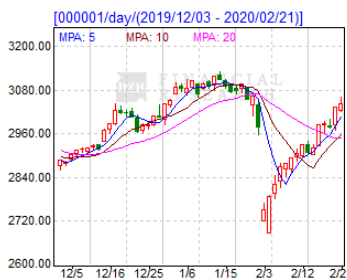
2020/2/25

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	19年末株価
NYダウ	28,992.41	-227.57	-0.78	-1.38	1.59	28,538.44
NASDAQ	9,576.59	-174.38	-1.79	-1.59	6.73	8,972.60
日経225	23,386.74	-92.41	-0.39	-1.27	-1.14	23,656.62
上海総合	3,039.67	9.51	0.31	4.21	-0.34	3,050.12
滬深300 (CSI300)	4,149.49	4.83	0.12	4.06	1.29	4,096.58
ハンセン	27,308.81	-300.35	-1.09	-1.82	-3.13	28,189.75
中国企業	10,790.84	-123.13	-1.13	-0.67	-3.38	11,168.06

【株式概況】

先週の動き: ハンセン指数は1.8%安と3週ぶりに反落、上海総合指数は4.2%高

香港市場ではハンセン指数が週間で1.8%安と3週ぶりに反落した。中国の金融緩和に対する期待から週初に旧正月連休前の水準を回復したものの、その後は上値の重い展開が続いた。中国の新型肺炎新規感染者が減少傾向にあることは相場の支援材料となったが、アップルの業績見通しが嫌気されたほか、中国の最優遇貸出金利引き下げで目先の材料出尽くし感も強まった。本土市場では上海総合指数が週間で4.2%高と大幅に続伸。中国政府による政策期待から20日には約1カ月ぶりに節目の3000ポイント台を回復した。

今週の展望: 香港市場は弱含みの展開か、新型肺炎の世界的拡大で警戒感

香港市場は弱含みの展開が予想される。中国の新型肺炎の新規感染者が減少傾向にあることは明るい材料だが、新型肺炎の感染が世界的な広がりを見せており、世界経済への影響が警戒されそうだ。中国政府による景気対策への期待は根強いものの、29日の中国製造業PMIの発表を前にリスク回避の動きが広がる公算が大きい。一方、本土市場も今週は弱含みの展開が予想される。上海総合指数は足元で節目の3000ポイントを回復するなど大きく持ち直しており、今週は利益確定売りに押される展開となりそうだ。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 吉利汽車(00175)	15.10	4.28
2 万洲国際(00288)	8.53	3.77
3 ファーウェイ(00941)	66.10	1.54
4 交通銀行(03328)	5.17	0.58
5 中国平安保険(02318)	91.00	0.11
6 シバツク(00386)	4.21	0.00
7 中国人寿保険(02628)	19.28	0.00
8 中国工商銀行(01398)	5.52	0.00
9 石業集団(01093)	19.02	0.00
10 ファイコム(00762)	6.69	-0.30

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 中国海外発展(00688)	27.10	-5.41
2 九龍倉置業地産(01997)	40.20	-5.19
3 HSBC(00005)	56.65	-5.03
4 サズ・ファー(01928)	38.50	-4.82
5 中国生物製薬(01177)	11.28	-4.24
6 碧桂園(02007)	10.58	-3.99
7 新世界発展(00017)	10.04	-3.83
8 長江実業地産(01113)	50.05	-3.47
9 テセント(00700)	401.00	-3.37
10 中国神華能源(01088)	14.08	-3.30

▼今週の主なイベント

- 2月25日(火)
- 【香港】貿易統計(1月)
- 2月27日(木)
- 【米国】GDP改定値(10-12月)
- 2月29日(土)
- 【中国】製造業PMI(2月)

▼今週の期待材料

- ◆中国国内の新型肺炎新規感染者数が減少傾向、新規感染者数は19日以降1000人以下まで縮小
- ◆中国各地で不動産引き締め策緩和の動き、中国政府による景気対策への期待が相場の下支え要因に
- ◆中国人民銀行が金融政策の柔軟性を維持していく方針を表明、一段の金融緩和に期待が高まる公算

▼今週の懸念材料

- ◆新型肺炎の感染が韓国やイタリアなど世界各地で拡大、世界経済停滞への警戒感が強まる公算
- ◆新型肺炎の感染拡大を受けて中国政府が全人代の開催を延期、中国経済の先行きに不透明感
- ◆新型肺炎の感染拡大を受けてIMFが20年の中国の経済成長率見通しを6.0%から5.6%に引き下げ

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 中化化肥(00297): 19年本決算は30-40%増益の見通し、競争力強化が奏功
- ☆ デジタル・チャイナ(00861): 19年本決算は50%超増益の見通し
- ☆ 中国神華能源(01088): 当局が内モンゴル自治区の炭鉱の生産拡大を認可
- ☆ 融創中国(01918): 19年本決算は物件販売の増加で50%超増益の見通し
- ◇ 香港証券取引所(00388): 26日に19年本決算を発表、市場予想は2%増益
- ★ 中電控股(00002): 19年本決算は市場予想を下回る66%の大幅減益
- ★ 銀河娛樂(00027): 27日に19年本決算を発表、市場予想は2%減益
- ★ キャセイ・パシフィック(00293): 新型肺炎の感染拡大受け沖縄や釜山便など運休
- ★ バドワイザーAPAC(01876): 26日に19年本決算を発表、市場予想は33%減益
- ★ テクスウインカ(00321): 広東省東莞の工場再開も小売部門は新型肺炎で打撃

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。